

同窓会だより

発行所
比治山女子中学校・高等学校
同 窓 会
〒 734-0044
広島市南区西霞町 5-16
TEL(082)251-4478

「和」をもって

「輪」のひろがり

会長 先本啓子



会長 先本啓子

同窓会の歴史を振り返ってみますと、昭和19年、旧比治山高等女学校第一期生が卒業された年の11月3日に同窓会の発会式が行われ、24年に会規則が作成されてより、以後毎年一回母校を会場として同窓会総会が開催され、今日に至りました。その間46年度総会は、比治山短大創立五周年を記念して、初めて短大の講堂において総会を開催しこれを機に五年に一度は総会会場を短大に設けることになりました。

また、47年に関東支部・54年に関西支部、61年短大大会が結成されました。比治山学園は時代の推移と共に発展し、今日では男女共学の比治山大学が平成10年に設立され、50余年の歴史をもつ同窓会も、今や会員は四万を数えるほどの大所帯になりました。平成10年4月29日の同窓会において「比治山学園同窓会」は、同じ名称のもと、連合体制をとりながら、短大・大学同窓会、中学校・高等学校同窓会として、各々独立の運営、活動を行うということが承認されました。翌11年6月12日、中学校・高等学校の第一回全体総会が開催され、「中学校・高等学校同窓会新規約」が承認されて、学年代表2名の選出をお願いしましたところ、皆様のご好意により、今回全学年の代表委員が、それぞれ決定しました。会員皆様のご理解と、ご協力をお願いいたしたく、ここに新規約と代表委員一覧表を併せて同封させていただきます。代表委員の皆様には、今後、同窓会とクラス委員とのパイプ役としてご尽力をいただきますようお願い申し上げます。これ迄築かれました良き伝統

を継承しながら、今日の物質中心の情報化社会にあつて、21世紀は、比治山学園の一貫した教育理念である比治山精神を改めて想起し、故国信玉三校長先生が「己を捨てて子を思う親の愛に感謝し、そのご恩を心にして精進する」の学園の建学精神と五訓(正直・勤勉・清潔・和合・感謝)を共有した先輩や後輩の繋がりを大切にして、世代を越えた幅広い交流の輪が、和合の心「和」をもって一段と大きくなり、会員と母校との絆がよりいっそう強まっていくことを願っています。先年より各学年の代表委員の方々のご協力によって、多くの会員の新任所を確認することができました。しかし、未確認の方も多数で、今回の「同窓会だより創刊号」が届かないということがかなりあることと思っております。また、発送しなくても返送された場合は、住所不明として、同窓会名簿の整理上住所録の欄

比治山学園同窓会組織図



は、空白とさせていただきます。空白了かせていただきます。卒業生で届いていない方がおられましたら、学校事務局へ、新任所を届けていただくようにお伝え下さいませ。ご一報次第直ちに送らせていただきます。今後、皆様のご要望などを取り入れながら、前向きな姿勢で稚々ながらも充実を計って参りたいと思っております。皆様、何卒これからの同窓会の行事には、積極的にご参加下さいますことをお願い申し上げます。

幹事		役員名		卒業期	
幹事	氏名	幹事	氏名	幹事	氏名
役員名	先本啓子	役員名	岡本直子	卒業期	高5回
副会長	赤谷俊子	副会長	坂田和子	卒業期	高7回
副会長	日高貴子	副会長	岡本直子	卒業期	高13回
総務	岡田直子	総務	岡田直子	卒業期	高2期
監査	橋本佐和子	監査	岡田直子	卒業期	高3回
監査	浅田良子	監査	岡田直子	卒業期	高6回
監査	阿部京子	監査	岡田直子	卒業期	高9回
監査	西村恵子	監査	岡田直子	卒業期	高10回
監査	野田登久子	監査	岡田直子	卒業期	高10回
監査	池田美津子	監査	岡田直子	卒業期	高13回
監査	宮原順子	監査	岡田直子	卒業期	高14回
監査	延本真栄子	監査	岡田直子	卒業期	高18回
監査	升谷紀子	監査	岡田直子	卒業期	高19回
監査	川崎邦子	監査	岡田直子	卒業期	高20回
監査	柳田京子	監査	岡田直子	卒業期	高21回
監査	高田京子	監査	岡田直子	卒業期	高23回

- 今後住所の変更の場合は必ず本部または学年代表にご連絡をお願いいたします。
- 本部および支部でそれぞれ同窓会行事が行われています。問い合わせはそれぞれの本部または支部にご連絡ください。
- 比治山女子中学校・高等学校同窓会は、平成15年6月(予定)に同窓会総会を開催いたします。皆様お揃いで是非ご出席下さいませようご案内もうしあげます。なお、詳細は新聞広告でお知らせいたします。

比治山学園理事交代にあたって

比治山高女二期生 兼田 照子

若い日の夢をそれぞれに、母校を巣立って57年が過ぎました。戦中・戦後の苦難な思いも遠くなり、当時を思う時、全く今昔の感に絶えません。

同窓会は発足以来、母校と表裏一体となって歩んで参りました。その同窓会の母校への協力・支援の熱意を評価されたものと存じますが、かねてより同窓生の意見として、学園理事の一員に卒業生を加えてほしいという旨の要請に理事会は応えて下さ

いまして、平成9年3月28日、理事会での審議の結果、同窓会より推挙された私が、選任されました。理事会のご理解には感銘のほかに、衷心より感謝しております。卒業生の一人として、母校の中・高校で、また短大で、永年の教員生活を終えての任務でした。ひたすら母校の発展のために、何かお役に立つ事ができるのならという想いが先行してお引受けしました。

俳句 岡本 直子

松が枝に

神籤重たき

二月かな

青春の

思ひ出集め

花の宴

立ち寄りし

島の茶房や

難飾る

同年4月1日に就任し、本年3月末日をもって4年間の任期を満了し、退任いたしました。理事会に、卒業生の発言の場を与えていただき、在任中は、皆様の温かいご指導とご支援をいただきましたことに厚くお礼を申し上げます。これで、1期生としての任を果たすことができたと一服の安堵感を感じております。

近年の少子化対策など私学経営は厳しい時代と予想されます。次期理事の方にバトンタッチをし、本学園の益々のご発展を託して、感謝の言葉と致します。

「編集者付記」

平成13年4月より、次期理事に、坂田和子氏(比治山高女2期生・前同窓会会長・現評議員)、山田和子氏(比治山短大国文科1期生・元大学部同窓会会長・現評議員)の2名が就任されました。中学校・高等学校及び大学同窓会に各1名づつの理事の誕生を強く要請され、その業績を通じて2席の確保に寄与された兼田照子氏(比治山短大名誉教授)に、ご退任のねぎらいと感謝を込めてお礼を申し、さらに大任を引き受けて下さった坂田・山田両氏には同窓生として団結して大任を無事遂行いただきますことをお願い申し上げます。ご披露し、声援をお送りします。

(委員記)

お知らせとお願い

◎平成15年6月に同窓会総会を予定しています。(日時・場所は未定)詳細は新聞広告でお知らせいたします。皆様お誘い合わせのうえ、お揃いでお出かけください。

◎同期会・クラス会等開催予定や既に開催された方、また、地域でご活躍されている方(例・ボランティア、サークル活動など)がい

同窓会総会をふりかえって

高校三回生 山口 裕子

比治山学園同窓会総会は例年四月二十九日に母校で開催されて来ましたが、前年の総会において組織の改案が承認され、新しい体制によってスタートすることになりました。これをうけて第一回比治山女子中学校・高等学校同窓会総会が、一九九九年(平成十一年)六月十二日ホテルグランヴィア広島で行われました。同窓生一九一名が、来賓梶山校長先生と楳の樹会(比治山大学同窓会)代表二名・旧職員十一名・現職員二十二名を迎え広い会場は旧交を温め合う華やいだ雰囲気満ちていました。

ア、サークル活動など)がいらっしゃいましたらお知らせ下さい。このコーナーで紹介させていただきます。

定刻十二時に開会。総会に先立ち全員で物故者への黙祷を捧げました。国信校長先生をはじめ多くの恩師や師団司令部に学徒動員で勤務中原爆の犠牲となられた数十人の先輩や早くに逝かれた同窓生の方々を偲んで、会長挨拶として二期生坂田和子さんは、この新しい体制による最初の総会が母校の創立六十年という記念すべき年に開催できた喜びを述べられました。そして前任の一期生長崎恵子さんが長年にわたり同窓会にご尽力され、今日の集いを心待ちにしておられたのに二ヶ月前急逝されて本当に残念です。と、語られました。坂田さんは同窓会長に就任されて以来、同窓会組織について絶えず心を傾け取り組んでこられて九年間、その結実を機に後進に託されて最後の会長挨拶でした。

来賓挨拶に続いて、懇親会では同窓生による慶びの場にふさわしい日本舞踊と独唱が披露され、歓談は尽きないうちに二時間を惜しみながら四年後の再会を約束して会場を後にしました。

思えば私は卒業してちょうど五十年、入学四ヶ月後の八月六日に校舎内で当時の一、二年生と数人の先生が共に原爆の惨禍にあい、多くの友が復学の夢を絶たれ、学校も存廃の岐路にたちました。こうして創立時の先輩から若い当番期35回生を含む皆さんが集い恩師を囲むひとときはまさに「一期一会」と思いました。次の総会により多くの同窓生との良き出会いを願いつつ。



(同窓会総会風景)

比治山精神が よみがえります

国信ホールは新校舎A館5階にあり、その入口には第三代校長、国信玉三先生の胸像が設置されています。胸像はブロンズ像(高さ63cm・重さ45kg)・台座はポテチーノ(イタリアの大理石約600kg)で、全体は約2mの高さです。胸像の前に立つと、懐かしい先生の顔・大きな耳と強い意思を感じさせる口元・メガネの奥に光る温和な眼差しに接することができ、学生時代が蘇り、臉が熱くなります。胸像の作者・吉田正浪教授(比治山大学短大部)は次の様に語って下さいました。「国信先生の80歳半ばの姿を写しとったもので今回は4ヶ月で仕上げました。よい意味での頑固じいさん。戦後GHQが学校に来たとき『冗談を言うな!生徒がいるのに学校をつぶされるか!部屋では靴を脱げ!』と堂々と言った先生です。気迫があり、立場がしっかりして教授会の決定を重視しながら、生徒のために取り入れられる範囲のものは、どんどん取り入れるという開けた部分もあり堂々とした学長のイメージをどのように表現するか、明治の頑固な男をいかに表現するか苦労しました。作品のタッチの粗さはそういう思いからです。」

小ホールに一歩足を踏み入ると波型の白い天井の両サイドから明るい光が差し込みステージ上には同窓会寄贈のグランドピアノが置かれ、約310の座席があり多くの行事に使用されています。

国信先生の築かれた比治山精神が代々受け継がれ、学園が益々発展されることを一同願わずにはいられません。

(“ひじやまの”より抜粋)



国信玉三先生の胸像



校長 梶山 時彦

十八歳まで過ごした町に帰って高校の校舎を見て、立ち寄ってみたいなど一瞬思うが、どのどなたですかと聞かれて名乗らなければなら

不二の縁

校長 梶山 時彦

シヨパンのピアノノ曲が流れ、別れの曲が歌われて:~と思いつくと、時間がその時に返って止まってしまふのだが、いやいや昔のことだ自分には理解しえないノスタルジャーだと今の年齢に立ち返る。還暦を迎えて直ぐに逝去した高校時代の友が「紫式部」と裏に書かれた封

ていった生徒たちは誰一人として同じではなかった。その当たり前のことが私にとつては実に意味のあることと思える。その一人一人の人生は正に誰にも代われない一人のものである。それに思いをやるも生徒たちの十八歳の卒業の日はやるせない感慨に浸る。その後一人一人が

どんな境遇にあつても、掛け替えのない自分の人生を生きていたことを認めあえるのは、あの十八歳を共有している人たちだけにはできるのだ。時が経ち輝いていた人が光をなくし、何もできなく思えた人がじつくり仕事を誇ることができたりする。しかしそれもなく認めあえるのはやはり昔を共有できる人たちしかない。それが同窓なのだと思える。今私が校長として在る意味は、国

信先生が終戦の無の中で、多くの辛酸を味わいながら卒業生のために学校を残そうとされ、人間として恥ずかしくない教育を与えようとされたことに尽きる。そのご縁の中に今日がある。同窓の皆さんが十八歳の一瞬を思い起こされ、不二のご縁を深められるように切に願うものである。

学校現況



《国信玉三奨学金》

学園独自の奨学金制度として国信玉三奨学金制度が設けられています。これは学園に修学している学生(大学院・大学・短大)・生徒(中学・高校生)のうち・学業・人物ともに優秀であり・かつ健康であつて・家庭の事由から学資の援助を受けることが望ましいと認められる者に対し奨学金を支給しています。(返済の義務はありません。)預金などの利息低迷から支給に苦慮しています。

《原爆死没者追悼式》

※ 平成九年度よりPTAより年額30万円の助成金を振興基金として加えることになりました。

一九九七年より八月六日の原爆死没者追悼式を学校が主体として行われることとなり、中学校・高等学校生徒会の皆様のお世話により諸先輩方の思いが受け継がれております。



(国信ホール)

奨励

- (1) 教育研究論文への奨励
- (2) 外国人留学生への助成
- (3) 本校生徒の活動成果への奨励

1999 年度 (平成 11 年度) 収支決算報告書
比治山女子中学校・高等学校同窓会

収入の部			
科 目	金 額	摘 要	
前年度繰り越し金	8,512,565		
入 会 金	1,825,000	5000×233 8000×82 4000×1	
利 息	2,569		
雑 収 入	408		
合 計	10,340,542		

支出の部			
科 目	金 額	摘 要	
通 信 費	114,660		
印 刷 費	714,450		
記 念 品 費	86,870		
慶 弔 費	114,346		
広 告 費	227,850		
同窓会総会助成金	381,031		
消 耗 品 費	36,980		
会 議 費	38,428		
雑 費	210	残高照明書	
合 計	1,714,820		

次期繰り越し金	8,625,722
---------	-----------

財 産 目 録			
定 期 預 金	金 額	備 考	
普通預金	6,500,000	広島銀行	350 万
現 金	2,123,569	広島市信用組合	300 万
合 計	8,623,569		

監査報告
監査の結果正確であることを承認いたします。
監査役 浅田良子・升谷紀子

2000 年度 (平成 12 年度) 収支予算案
比治山女子中学校・高等学校同窓会

収入の部			
科 目	金 額	摘 要	
前年度繰り越し金	8,625,722		
入 会 金	1,730,000	5000×250 8000×60	
利 息	2,500		
雑 収 入	0		
合 計	10,358,222		

支出の部			
科 目	金 額	摘 要	
通 信 費	500,000		
印 刷 費	730,000	名簿印刷代 卒業生簡代	
記 念 品 費	90,000		
慶 弔 費	150,000		
広 告 費	0		
総 会 助 成 金 費	100,000		
消 耗 品 費	10,000		
会 議 費	40,000		
雑 費	1,000		
予 備 費	8,237,222		
積 立 金	500,000		
合 計	10,358,222		

支部会だより

関東支部第16回同窓会

期日迫る！5月26日皆さんのご参加をお待ちしています。忙しい毎日！レトロな一時であなたの「心のはずみ車」をまわしてみませんか？

同窓会の皆様こんにちは！お元気で活躍のことと存じます。関東支部からは、二年に一度、80名前後の出席を得て開催されており同窓会についてご紹介させていただきます。

日時 二〇〇一年五月二十六日(土) 十二時～十四時半
場所 渋谷東武ホテル
(鳳凰の間 ☎03-3347-6111)
今期当番連絡先 大菅悦子
(☎03-3337-9180/03-11-21000円)



今回の当番は、昭和52年度卒業(高校29回)の方々です。昨年の早々から、とても楽しく知恵を絞りながら準備に取り掛かって頂いています。昨今の同窓会事情には厳しいものがありますが、会員の皆様の会への出席によって、成果は聞えませんが、今年度は21世紀最初の開催年にあたり「自分史」の一つのエポックとしても、会員皆様ふるってのご参加を！尚、今回は役員の交替を予定。中河原会長をはじめこれまで運営にご尽力下さった方々に心から感謝を申し上げます。
(記 高校17回 青景孝子)

関西支部同窓会

広島の皆様、はじめまして。この度関西支部代表を長行寺博子・上森ふみ、お二人様に替わります。僭越ながら大役をお

平成11年度事業報告書

期 日	場 所	項 目
6 / 12 (土)	ホテルグランヴィア	同窓会全体総会
7 / 3 (土)	学校	同窓会反省会、代表委員選出、評議員選出
9 / 18 (土)	学校	クラス役員名簿より代表委員選出について検討
10 月末		クラス役員名簿で学年の最初に載っている人へ代表委員選出の依頼
11 / 22 (月)		高等学校卒業予定の保護者・学校職員先生方に新しく中学校・高等学校同窓会スタートの旨の文章を配る。会費改定の件申し添える。中学校のみで卒業される場合は、同窓会費4000円を納めていただく。
12 / 18 (土)	全日空ホテル	兼田照子同窓会代表招集により大学・短大と中学校・高等学校の幹事による協議会を開催
12 / 29 (木)		佐々木博先生(元教頭)ご令室様逝去にて弔電をおくる
1 / 8 (土)	リーポホテル	幹事会・新年会
1 / 16 (日)		佐田友先生ご逝去にて(1/16(日))弔電をおくる(1/14(金)に亡くなられた)
1 / 28 (金)	学校	高等学校卒業生のクラス役員歓迎会
3 / 1 (水)	学校	高等学校卒業式(先本会長、赤谷副会長出席)
3 / 18 (土)	学校	寺西先生、大野先生退職記念品贈呈
3 / 25 (土)	学校	幹事会
4 / 7 (金)	学校	入学式(出席)
4 / 15 (土)		3月末会計決算まとめ
4 / 27 (木)	学校	会計監査

受けたいましたした十四回生の岡本宣子・重竹宣恵と申します。関西支部は短大卒・大学卒を除きまして一三〇名の会員で活動しております。二年に一回の会が開催されます。昨年は九月に大阪市内のホテルでお当番の方の心暖まるもてなしで大盛会で

した。又来年の開催に向けて何とか会員の皆様とのお厚情を深めたく楽しい企画をと思っております。皆様のご期待に添えたいように役員が一丸となり頑張るつもりです。どうぞ皆様のお声をお聞かせ下さい。本部のご発展を心より願っております。

題号募集

「同窓会だより」の題号を募集しております。
比治山女子中学校・高等学校同窓会にふさわしい名前をお願いいたします。
《あて先》
〒七三四-0044
広島市南区西霞町五十一十六
比治山女子中学校・高等学校同窓会「題号募集」係

編集後記

平成十年に中学校・高等学校同窓会として新しくスタートし、年代を越えた諸先輩方との交流に自分自身の未熟さを痛感しつつ、同窓生としてのつながり、ご縁に感謝、感謝です。
同窓会の皆様の『和』のお役に立てる「心のたより」となればと願い、編集に参加させていただきました。学園の五訓を思い出し、改めて身が引き締まります。

母校の向上・発展を願わない卒業生はいらっしゃらないでしょう。新聞に目を通し、母校を思い出しただき同窓生の交流の一端として皆様に喜んでいただける紙面作りを心がけていきたいものです。編集にあたりお力添えをいただきました先生方、皆様に心より御礼申し上げます。「同窓会だより」創刊号の締めとさせていただきます。
(升谷)